



第535号
2016年1月4日

発行・自治労連千葉県本部
千葉市中央区長洲1-10-8 自治体福祉センター内
TEL 043-227-9393 FAX 043-227-6060
mail jichiroren-chiba@a5.itkeeper.ne.jp
URL http://www.jichirorenchiba.jp/
責任者・斎藤 実 編集長・賈川 理



県南各市町の給与を実際に計算



謹賀新年

戦争法廃止へ全力を
県本部委員長 斎藤 実

昨年、安倍政権により「戦争法」の強行が行われました。一方、「立憲主義」を叫ぶ人々も、若者が立ち上がり、反対の運動が全国で広がり、私たちの運動にも展望を切り開きました。

16春闘では、「すべての労働者の賃上げと雇用の安定」を実現することにも、「戦争法」廃止へ、国民的な運動を職場・地域で広げよう。

参加した青年は、「今まで、ただなんとなく給与と、その仕組みについて、その仕組みを知る事ができて、とても参考になった。給料表や、級・号給について、自分の給与を見直してみたいと思う。地域や自治体による格差や学歴、職歴による違い、民間との差についても復習したい。」と語りました。

11月21日～22日、鴨川・黒潮荘で、県本部青年部の県南ブロック学習交流会が開かれ、7単組・県本部18人が参加、学習と交流を深めました。

学んで 交流しよう！

県本部青年部、県南ブロック学習交流会

実際に計算し、数値でその違いを実感

その後、県南自治体の標準的な昇格基準をもとに4グループに分かれ、それぞれ大卒で入職した場合の制度賃金表を作成。

30・40・50・60歳時点の年収を比較しました。



しっかりと学習ができました

いくことが大事だと思っただけの音が聞かれ、実際に計算をし、数値でその違いを実感することが出来ました。

交流もしっかりと

夕方からは、鴨川の海の幸を堪能しながら、わいわいと交流。自己紹介では、今自分のやっている仕事も紹介。「あ、同じ職場だ」との声も上がり、組合だけでなく、仕事の話や、趣味の話など、交流が深まりました。

青年部のとりくみ

青年部長から

青年部長の亀井さん「今回の企画で、県南地域の組合間、青年間のつながりを広げることが出来ました。各単組から協力いただきありがとうございます。」



亀井青年部長

また、参加単組のご当地クイズなどで大いに盛り上がりました。参加者からは、「同じ地域で、自治体を越えて交流できることはうれしい」、「また参加したい」、「今年度は、同期や後輩を連れて参加したい」との声があり、次回につながる学習交流会となりました。

青年部としては、2月に県北ブロック交流会を開催していく予定です。

2016年（9月上旬予定）青年部県外研修in北海道

名称はKITAproに決定

～学びにKITA♪ 遊びにKITA♪ みんなでKITA♪～



今年度は北海道へ
県本部青年部は、今年度の県外研修の行き先を、前年の「どこ行く総選挙」でも人気の高かった北海道に決めて、とりくみを進めています。

KITApro
名称が決定

すでに実行委員会を2回行い、北海道内での行き先は道央方面（夕張、札幌、小樽など）に絞り、日程を9月2日～4日か9月9日～11日のどちらかで議論を進めています。

また、県外研修の名称を「KITApro」と決め、参加して良かったと思えるような企画を計画しています。企画からのみなさんの参加をお待ちしています。